

## 令和元年度 事業報告

令和元年度においては、引き続き膜構造及び膜材料の一層の普及・発展に向け、膜構造の品質確保のための各種の講習会事業、見学会等を会員の協力を得て円滑に実施するとともに、今後の協会及び会員の活動に資するため、近年の膜構造等の普及における課題や社会経済情勢等を踏まえた調査研究活動を実施した。

また、国土交通大臣から指定を受けて実施している行政代行業として、建築材料品質性能評価事業及び型式適合認定事業を適切に実施した。

### 1 品質及び技術水準の確保向上（技術向上事業）について

- (1) 平成29年度に「平成14年国土交通省告示第666号」等の改正告示が行われ「膜構造用フィルム」が位置付けられたことを踏まえ、その普及に向け材料試験方法等を取りまとめた。
- (2) 膜構造の健全な普及発展を図るため、「膜構造用フィルム」の利用を含めた膜構造に関する解説書の改訂作業を（一財）日本建築センターとともにに行い、令和2年1月に発行した。
- (3) 膜体加工工場登録制度を推進し、6工場（すべて登録更新工場）の工場審査を実施した。  
（令和元年度末時点の登録工場数；すべての膜材料加工・7工場、A種を除く膜材料加工・12工場。協会ホームページに掲載。）
- (4) 「膜施工管理技術者講習」を、10月29日及び30日に実施し、S種27名、M種10名が講習後の考査に臨み、S種27名、M種10名を合格者として登録した。  
（令和元年度末時点の登録者数；S種76名、M種15名、計91名。協会ホームページに掲載。）
- (5) 「定期点検者講習」を7月4日に実施し、22名が講習後の考査に臨み、21名を合格者として登録した。  
（令和元年度末時点の登録者数；140名。協会ホームページに掲載。）
- (6) 膜材料等及び膜構造建築物における製造、加工、施工、維持保全の各段階における品質の確保・向上を図るための技術標準類の見直し作業を引き続き行った。

### 2 技術発展のための調査研究の推進（調査研究事業）について

- (1) 「膜構造建築物における風荷重及び風力係数算定マニュアル」について、検討成果の公開に向けた調整を行った。
- (2) 膜種別毎の膜材料等の出荷実績、用途別・膜種別毎の膜構造建築物及び膜天井の事業実績のアンケート調査を実施し、毎年度の膜構造の事業実績に関するフローデータを整備した。
- (3) 倉庫、作業場、荷捌き場等の産業施設等の整備において、今後の膜構造建築物の展開の方向を検討していくため、引続き産業施設整備研究会における検討を行った。
- (4) 「膜構造研究論文集2019」の編纂に向け、論文の募集を行い、編集作業を行う

とともに、その一層の充実にに向けた検討を開始した。

- (5) 使用期限を限った建築物の設計法に関し、検討成果を踏まえ日本建築学会大会において発表・討議を行った。

### 3 普及情報事業の推進（技術情報事業）について

- (1) 記念講演会を、6月19日通常総会後に開催した。

『膜構造への期待 ―黎明期から平成、そして令和へ―』

講師：斎藤公男 様 日本大学名誉教授・A-Forum 代表

- (2) 協会ホームページにおいて、膜構造に関する基礎的な情報、知見の提供を行うとともに、協会事業等に関する最新の情報発信を行った。

- (3) 会員向け見学会を、2月13日に大阪市及び周辺において実施し、参加者とともに交流会を開催した。

見学施設：MST コーポレーション（奈良県生駒市）、西山天王山駅（京都府長岡京市）、ユニバーサルシティ駅（大阪市）、ユニクロ心斎橋（大阪市）

### 4 性能評価事業等（行政代行事業ほか）について

- (1) 指定性能評価機関として、5件の膜材料に係る評価を行い国土交通大臣への認定申請を行った。

- (2) 膜構造に係る型式認定に係る指定認定機関として、9件のテント倉庫建築物その他の膜構造建築物の認定を行った。

- (3) 膜構造建築物に係る技術審査は案件がなかった。

### 5 会議の開催状況

- (1) 総会

令和元年度通常総会を6月19日に開催し、平成30年度事業報告及び決算を承認し、令和元年度事業計画及び収支予算の報告を行った。

- (2) 理事会

- ① 第1回通常理事会（5月15日）

平成30年度事業報告及び決算、通常総会の開催及び議案に関する件、入会申請に係る件などの審議を行った。

- ② 第2回臨時理事会（6月19日）

通常総会終了後、直ちに臨時理事会を開催し専務理事の選定を行った。

- ③ 第3回臨時理事会（11月19日）

入会申請に係る審議を行うとともに、第三種会費の免除について新たな該当者についての承認を得た。

令和元年度上半期の事業実施状況、理事職務執行状況の報告、性能評価業務及び型式認定業務に係る手数料改定に係る報告等を行った。

- ⑥ 第4回理事会（3月23日）

令和2年度事業計画及び令和2年度収支予算の承認、令和2年度通常総会の開催の決定、事業実施状況の報告などを行った。

- (3) 企画運営委員会  
委員会を4回開催し、理事会への付託案件、協会の運営、事業活動における課題等についての討議を行った。
- (4) 普及情報委員会  
委員会を3回開催し、膜構造普及のための講習会の実施、会員向けの施設見学会の実施などに関する討議を行った（うち1回は書面による意見聴取）。
- (5) 維持保全専門委員会  
委員会を4回開催し、定期点検報告書20件の審査を行った。
- (6) 工場登録専門委員会  
委員会を2回、委員による現地審査を6工場において行った。
- (7) 性能評価委員会  
建築材料品質性能評価委員会を4回開催し、膜材料5件についての性能評価を行った。
- (8) 型式適合認定委員会  
委員会を5回開催し、9件についての審査を行った。
- (9) 膜構造技術審査委員会  
本年度は審査に至った案件はなかった。

## 6 会員の動向

	令和元年度末	平成30年度末
第1種正会員	20社	20社
第2種正会員	17社	17社
第3種正会員	95名	91名
第4種正会員	6社	6社
賛助会員	1社	2社
合計	139会員	136会員